

学会発表を終えて

10月号の大見出しは、今後学会発表をする人に向けて、発表を終えての感想などを書いていただきました！

【“ファジィシステムシンポジウム/FSS2021“に参加(9/13～9/15開催)】



正直、初めての学会でとても緊張しました。Zoomを用いたオンライン形式だったのですが、普段使っているTeamsと使用が少し違ったので事前にZoomで画面共有して練習したのは良かったです。発表中は全体ゼミと変わらない緊張感だったので、これからより全体ゼミの緊張感を大切にしたいと思いました。自分の研究では室内で撮影した画像から推定しているので、屋外になった場合の事を聞かれました。今後は屋外の具体的な事項について考える必要があると改めて感じました。

執筆:古賀 光稀

【“電気・情報関係学会九州支部連合大会“に参加(9/24～9/25開催)】



発表自体は全体ゼミをやっているおかげか普段通りの発表といった感じでそこまだったのですが...質疑応答が難しかったというか咄嗟に答えられず、終わった後に「あー、こんな風に答えられたじゃん」ってなったというのが正直なところです(笑)自分自身の研究に自信をもって堂々と質問に対応していくことや自分の研究についてもっと深く考えていこうと思える学会でした。今度、

また学会に出られる機会があればリベンジしたいですね！

ロゴ引用:<https://www.ieice.org/kyushu/>

執筆:江口 大雅

先生コラム ～生徒から先生へのQ&A～【奥村先生】

Q1. 学生時代の研究テーマ・そのテーマにした理由

A1.法政大での卒研は衛星画像の新しい分類法の開発を、同大学院修士課程での研究は、衛星画像の新しい幾何補正手法の開発を、そして、千葉大大学院博士課程2年生までは、衛星画像の経時変化抽出手法の開発に取り組んでいました。特に、法政大時代の研究テーマは、指導教員が着任直後で研究室を立ち上げたばかりだったため、予算や設備がない中で、先生の着想を基に練り上げました。

ところが、博士課程3年になった時に定年退官に伴う主指導教授の変更があり、新しいレーザーの開発とその信号処理手法を研究することになりました。ここでも新任の指導教授の専門と自分のアイデアの落とし所として、「致し方なく」研究テーマ変更をしましたが、その結果、自分の知識や経験、視野がものすごく広がったと思います。とはいえ、3年間では博士号を取れずに、半年Over Doctorして、実質1年半で博士論文をまとめました。

Q2. 先生になったきっかけ・先生になってよかったこと

A2.大学での指導教員や周辺の研究者(ほとんどが東京大学関係、本学の寺本教授もその一人)と関わる中で、大学院修士課程に進学する時には、大学や高専の教員となることを自然と意識するようになりました。教員になって良かった！と思うことは、知識吸収や研究遂行して行く中で常に新鮮な刺激に満ちていること、そして、毎年新しい若い学生さんたちと関わることで、自分も何となく若く(?)いられることかな。

Q3. 昔の研究室あるある

A3.・昔は、授業も研究指導も、「私の背中を見ろ、私の著書や論文を読み」的な感じでした。
・コンピュータがとにかく低スペで、「如何にして低スペPCで処理を実行させるか」というハード絡みの壁に悩む日々でした。

・ツールも全て自分で「ゼロから」作る必要があったので、結果として自分のプログラミングスキルが飛躍的に向上したと思います。

・画面のスクショも夜中に照明を消して1眼レフに接写レンズをつけて撮影、スライドもOHPフィルムだったので、作成や修正に恐ろしい時間を要しました。

・卒研当時、先生も30代独身と若かったので、毎晩缶ビール片手に研究論議。進捗が思わしくないとピコピコハンマーでコツン...今ならアルハラとかパワハラになっちゃうのかな。

執筆:奥村 浩



【学生時代に取った学会賞】

研究室係紹介

もうすぐ院進学予定のB4方々の係配属が行われると思うので、各係の役割や活動内容をまとめていただきました。

【学生代表】 担当:宮田

係ミーティングの司会進行、係活動報告の取りまとめ、各係のサポート
◎研究室内の要望や、サポートが必要なとき

【代表補佐】 担当:山田

各係の活動状況の把握、研生活改善にむけた活動
◎研究室活動においてアイデアがあるとき、研究室の動きが分からないとき

【留学生】 担当:江口

留学生とのコミュニケーション促進、留学生チューターの支援、海外の学生や企業との交流会
◎留学生や海外の人とコミュニケーションを取りたいとき

【ゼミ】 担当:宮川

全体ゼミの運営
◎全体ゼミに関する分からないこと、評価方法、実施日、参加グループ

【環境改善/設備】 担当:淵田

研究室内の環境改善、備品の不要不足等の管理
◎研究室内の備品の不備不足および物品の置き場に困ったとき

【設備・安全(調達・運用)】 担当:徳丸

研究室内の清掃・物品整理のための設備の管理、レイアウト調整
◎研究室内の環境における不満があるとき、該当設備の改善や調整の提案

【デモ】 担当:溝口

デモンストレーション実施の告知及びスケジュール管理
◎デモンストレーション作成や実施における疑問点がある、またはこうした方がいいなどのアイデアがあるとき

【キャリア・情報】 担当:古賀

◎進路情報(エントリーシート等)の収集・学会情報(開催日程・締切日等)の収集
◎配属直後の後輩に、スライドやPCセットアップ等の指導

【計算機運用・ネットワーク】 担当:築地

IPアドレスやHPなどネットワーク関係の管理
◎新しい機器をネットワークに接続する時、HPに載せたい内容があるとき

【広報】 担当:高柳, 山口

研究室活動に関する情報を研究室内外へ発信
◎知りたい情報や広報誌に掲載してほしいことがあるとき

【レクリエーション】 古賀, 山田

研究室メンバー間のコミュニケーション促進を目的としたレクリエーションの企画・実施
◎研究室メンバーでやりたいレクリエーションがあるとき

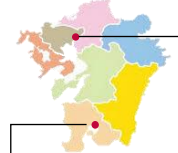
Sharing my local town ♪

鹿児島といえば何を想像するでしょうか.西郷隆盛?芋焼酎?ほかにもさまざまな有名なモノが鹿児島には存在します.その中でも強く印象に残るモノは桜島ではないでしょうか.世界的に見ても非常に活発に活動が続いている活火山というものは珍しいのですが、驚くべきことにその麓では普通に人が暮らしています.桜島が爆発して、噴煙を空高く上げている様子は、他県の人にとっては一見の価値ありなのではないでしょうか.



引用: <http://www.sakurajima-kinkowan-geo.jp/kazan-news/3432>

奥村研M1
淵田 研彦



奥村研M1
山口 真琴



佐賀県武雄市には、宇宙科学館という参加体験型の展示物を通して、科学を楽しく学ぶことができる施設があります。プラネタリウムがあり、本物に近いリアルな星空を再現されています。天文台では、大型望遠鏡で月や惑星、太陽を観察できます。3つのゾーンがあり、月面重力の疑似体験ができたり、普段は意識していない重力を体感できたりするのでおすすめです。



引用: <https://www.asobo-saga.jp/feature/archives/000294>

お知らせ

●4年生中間発表(9月30日オンライン開催)

●ポスター掲示(CPS研究室前)

CPS研のマスター11人それぞれの研究紹介としてのポスターを研究室前に掲示されるようになりました。



掲示されたポスター